平成23年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年4月22日

上場会社名　株式会社ノエビアホールディングス(株式会社ノエビア)　　上場取引所　東
コード番号　4928　　URL　http://www.noevirholdings.co.jp
代表者　　(役職名) 代表取締役社長　　(氏名) 大倉　俊
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部担当　　(氏名) 濱口　雅之　　TEL 078-303-5121
四半期報告書提出予定日　　平成23年4月28日
配当支払開始予定日　　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　有
四半期決算説明会開催の有無　　:　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第2四半期の連結業績(平成22年9月21日～平成23年3月20日)

(1) 連結経営成績(累計)　　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第2四半期	24,493	△8.5	1,296	△39.3	1,438	△36.9	533	△52.4
22年9月期第2四半期	26,765	△6.5	2,134	△12.7	2,280	△14.8	1,121	△1.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第2四半期	12.90	―
22年9月期第2四半期	27.13	―

当社は、平成23年3月22日付で子会社の株式会社ノエビアの株式移転により持株会社として設立されました。当第2四半期決算短信は、子会社である株式会社ノエビアの業績を報告するものです。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第2四半期	86,841	50,992	58.7	1,233.49
22年9月期	88,796	52,011	58.6	1,258.20

(参考) 自己資本　　23年9月期第2四半期　50,971百万円　　22年9月期　51,992百万円

当社は、平成23年3月22日付で子会社の株式会社ノエビアの株式移転により持株会社として設立されました。当第2四半期決算短信は、子会社である株式会社ノエビアの業績を報告するものです。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	―	0.00	―	36.00	36.00
23年9月期	―	0.00			
23年9月期(予想)			―	36.00	36.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無　無

当社は、平成23年3月22日付で子会社の株式会社ノエビアの株式移転により持株会社として設立されました。当第2四半期決算短信は、子会社である株式会社ノエビアの業績を報告するものです。

3. 平成23年9月期の連結業績予想(平成22年9月21日～平成23年9月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	△3.0	2,700	△3.0	3,000	△2.8	1,500	△4.2	36.30

(注)当四半期における業績予想の修正有無　無

4. その他　（詳細は、【添付資料】P. 4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　有

② ①以外の変更　無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年9月期2Q	41,337,487株	22年9月期	41,337,487株
② 期末自己株式数	23年9月期2Q	14,627株	22年9月期	14,627株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年9月期2Q	41,322,860株	22年9月期2Q	41,322,860株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 ・・・

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1)　連結経営成績に関する定性的情報

第２四半期連結累計期間（平成22年９月21日から平成23年３月20日まで）

	当第２四半期	
	売上高 （百万円）	構成比 （%）
化粧品事業	16,030	65.5
医薬・食品事業	7,404	30.2
その他の事業	1,059	4.3
売上高計	24,493	100.0

	前第２四半期		当第２四半期			
	金額 （百万円）	売上比 （%）	金額 （百万円）	売上比 （%）	増減額 （百万円）	増減率 （%）
営業利益	2,134	8.0	1,296	5.3	△838	△39.3
経常利益	2,280	8.5	1,438	5.9	△842	△36.9
四半期純利益	1,121	4.2	533	2.2	△587	△52.4

当第２四半期連結累計期間（平成22年９月21日～平成23年３月20日）におけるわが国経済は、持ち直しの動きが一部見られるものの、失業率は依然高水準にあり、平成23年３月11日に発生した東日本大震災の影響が懸念され、先行きが見通せない状況にあります。

当社グループが主に事業を展開する化粧品市場におきましては、国内市場の縮小傾向に下げ止まり感があるものの、企業間競争は激しくなっております。

売上高につきましては、主に化粧品事業において、国内個人消費の低迷の影響を受け、カウンセリング化粧品の高価格帯売上が減少しました。さらに東日本大震災の影響もあり、前年に比べ減少しました。

営業利益、経常利益、四半期純利益につきましては、販管費の削減に努めましたが、前年と比べ売上高の減少や売上構成比率の変動による粗利益の減少、また東日本大震災に伴う特別損失の計上などにより減少しました。

これらの結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は、24,493百万円（前年同期比8.5％減）、営業利益は1,296百万円（同39.3％減）、経常利益は1,438百万円（同36.9％減）、四半期純利益は533百万円（同52.4％減）となりました。

化粧品事業におきましては、カウンセリング化粧品の高価格帯売上が前年に比べ減少しました。またセルフ化粧品の売上は前年並みとなりました。その結果、化粧品事業の売上高は、16,030百万円、セグメント利益は2,046百万円となりました。

医薬・食品事業におきましては、医薬品は微増になりましたが、栄養補助食品やドリンク類の売上は前年実績を下回りました。その結果、医薬・食品事業の売上高は、7,404百万円、セグメント損失は13百万円となりました。

その他の事業におきましては、アパレル等の売上は前年を下回りましたが、北米子会社における航空関連事業が前年に比べ増加しました。その結果、その他の事業の売上高は、1,059百万円、セグメント損失は32百万円となりました。

(2)　連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,955百万円減少し、86,841百万円となりました。主に、設備投資の抑制により有形固定資産が減少し、固定資産が前連結会計年度末に比べ850百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ936百万円減少し、35,848百万円となりました。主に、支払手形及び買掛金が減少し、流動負債が前連結会計年度末に比べ644百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,019百万円減少し、50,992百万円となりました。主に、配当金の支払によって利益剰余金が前連結会計年度末に比べ954百万円減少したことによるものです。

（連結キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末の36,362百万円に比べ2,832百万円減少し、33,529百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は２百万円（前年同期比2,108百万円の収入減）となりました。これは、主に、税金等調整前四半期純利益959百万円及び減価償却費854百万円と、減少要因としては売上債権の増加1,104百万円及び仕入債務の減少784百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は1,316百万円（前年同期比757百万円の支出増）となりました。これは、主に、定期預金の預入による支出2,524百万円と、増加要因としては定期預金の払戻による収入1,000百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は1,483百万円（前年同期比０百万円の支出増）となりました。これは、配当金の支払額1,483百万円によるものであります。

(3)　連結業績予想に関する定性的情報

平成23年９月期通期の連結業績予想につきましては、平成23年３月11日に発生した東日本大震災の当社事業に及ぼす影響が不透明であることから、平成22年10月29日公表の連結業績予想を据え置いております。今後の業績に与える影響が判明次第、速やかに公表いたします。

２．その他の情報

(1)　重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2)　簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

（簡便な会計処理）

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

在外子会社及び重要性のない国内子会社において、法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるものについては、前連結会計年度において使用した将来の業績や予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

（特有の会計処理）

該当事項はありません。

(3)　会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準等の適用

第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は、それぞれ8,435千円、税金等調整前四半期純利益は、133,212千円減少しております。

②表示方法の変更

「コミットメントフィー」は、前第２四半期連結累計期間においては、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりましたが、当第２四半期連結累計期間において営業外費用の総額の100分の20を超えたため区分掲記いたしました。なお、前第２四半期連結累計期間の営業外費用の「その他」に含まれるコミットメントフィーは、7,314千円であります。

3.　四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成23年３月20日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年９月20日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,054,457	37,362,030
受取手形及び売掛金	12,090,460	11,023,886
有価証券	―	500,000
商品及び製品	6,496,605	6,470,848
仕掛品	198,698	297,615
原材料及び貯蔵品	1,639,392	1,697,635
繰延税金資産	1,699,326	1,659,337
未収入金	1,431,101	1,796,886
その他	568,329	491,800
貸倒引当金	△79,365	△95,834
流動資産合計	60,099,006	61,204,208
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,981,255	6,230,321
機械装置及び運搬具（純額）	1,040,297	1,016,232
土地	13,973,091	14,330,058
リース資産（純額）	24,438	23,611
建設仮勘定	―	35,243
その他（純額）	439,796	491,267
有形固定資産合計	21,458,879	22,126,734
無形固定資産		
のれん	2,784	4,556
ソフトウエア	1,158,732	1,345,690
その他	109,527	159,931
無形固定資産合計	1,271,044	1,510,178
投資その他の資産		
投資有価証券	461,505	456,824
長期貸付金	3,189	3,384
繰延税金資産	2,366,521	2,126,342
その他	1,397,467	1,575,587
貸倒引当金	△216,458	△206,402
投資その他の資産合計	4,012,224	3,955,736
固定資産合計	26,742,149	27,592,648
資産合計	86,841,155	88,796,857

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成23年３月20日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年９月20日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,461,978	5,258,389
リース債務	6,550	5,791
未払金	3,881,406	4,039,531
未払法人税等	732,130	485,019
繰延税金負債	4	6
賞与引当金	379,172	361,191
返品調整引当金	1,176,924	1,246,929
その他	924,776	810,130
流動負債合計	11,562,944	12,206,989
固定負債		
リース債務	19,083	18,983
退職給付引当金	5,165,651	5,084,432
長期預り保証金	18,865,172	19,230,372
その他	235,512	244,165
固定負債合計	24,285,419	24,577,954
負債合計	35,848,364	36,784,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,319,431	7,319,431
資本剰余金	6,809,366	6,809,366
利益剰余金	37,351,546	38,305,907
自己株式	△21,326	△21,326
株主資本合計	51,459,018	52,413,379
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	31,455	28,087
為替換算調整勘定	△519,075	△448,867
評価・換算差額等合計	△487,619	△420,780
少数株主持分	21,391	19,313
純資産合計	50,992,791	52,011,912
負債純資産合計	86,841,155	88,796,857

(2) 四半期連結損益計算書
【第２四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成21年９月21日 至　平成22年３月20日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成22年９月21日 至　平成23年３月20日）
売上高	26,765,604	24,493,883
売上原価	9,192,951	8,612,070
売上総利益	17,572,653	15,881,812
販売費及び一般管理費	15,438,203	14,585,466
営業利益	2,134,449	1,296,345
営業外収益		
受取利息	13,068	14,859
受取配当金	4,061	4,136
受取賃貸料	27,112	25,298
保険配当金	41,157	35,815
その他	102,655	84,812
営業外収益合計	188,056	164,922
営業外費用		
為替差損	33,218	11,217
コミットメントフィー	－	7,189
その他	8,440	4,587
営業外費用合計	41,659	22,994
経常利益	2,280,846	1,438,273
特別利益		
固定資産売却益	164	4,431
投資有価証券売却益	1,616	－
貸倒引当金戻入額	－	2,956
長期未払金取崩益	40,234	－
その他	1,517	－
特別利益合計	43,532	7,388
特別損失		
固定資産除売却損	7,490	309,407
投資有価証券評価損	215,418	682
災害による損失	－	51,533
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	124,776
特別損失合計	222,908	486,400
税金等調整前四半期純利益	2,101,471	959,261
法人税、住民税及び事業税	1,109,817	704,931
法人税等調整額	△127,600	△281,699
法人税等合計	982,217	423,231
少数株主損益調整前四半期純利益	－	536,029
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△1,955	2,767
四半期純利益	1,121,209	533,262

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成21年９月21日 至　平成22年３月20日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成22年９月21日 至　平成23年３月20日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,101,471	959,261
減価償却費	922,606	854,930
のれん償却額	3,004	1,771
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△23,202	△6,474
賞与引当金の増減額（△は減少）	11,524	17,879
返品調整引当金の増減額（△は減少）	27,428	△70,004
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△205,246	81,218
債務保証損失引当金の増減額（△は減少）	△1,517	－
受取利息及び受取配当金	△17,130	△18,995
為替差損益（△は益）	20,784	8,535
投資有価証券売却損益（△は益）	△1,616	－
投資有価証券評価損益（△は益）	215,418	682
固定資産除売却損益（△は益）	7,325	304,976
災害損失	－	51,533
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	124,776
長期未払金取崩益	△40,234	－
売上債権の増減額（△は増加）	△1,162,924	△1,104,493
たな卸資産の増減額（△は増加）	△36,552	38,121
仕入債務の増減額（△は減少）	435,947	△784,739
預り保証金の増減額（△は減少）	△209,900	△365,200
その他	614,277	255,032
小計	2,661,462	348,811
利息及び配当金の受取額	16,292	13,093
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△567,110	△359,621
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,110,644	2,283
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△2,524,579
定期預金の払戻による収入	－	1,000,000
有価証券の償還による収入	－	500,000
投資有価証券の取得による支出	△900	△900
投資有価証券の売却による収入	11,616	－
有形固定資産の取得による支出	△555,132	△373,359
有形固定資産の売却による収入	1,000	127,375
無形固定資産の取得による支出	△16,795	△46,075
無形固定資産の売却による収入	411	－
長期貸付金の回収による収入	407	193
その他	－	900
投資活動によるキャッシュ・フロー	△559,392	△1,316,445

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成21年９月21日 至　平成22年３月20日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成22年９月21日 至　平成23年３月20日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,482,998	△1,483,896
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,482,998	△1,483,896
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18,739	△34,094
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	49,514	△2,832,152
現金及び現金同等物の期首残高	35,579,974	36,362,030
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,629,488	33,529,877

(4)　継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5)　セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

前第２四半期連結累計期間（自　平成21年９月21日　至　平成22年３月20日）

	化粧品事業（千円）	医薬品事業（千円）	食品事業（千円）	その他の事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	17,886,468	3,591,857	4,364,306	922,971	26,765,604	―	26,765,604
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	68,216	68,216	△68,216	―
計	17,886,468	3,591,857	4,364,306	991,187	26,833,820	△68,216	26,765,604
営業利益又は営業損失(△)	3,087,885	△214,603	181,932	△81,603	2,973,611	△839,161	2,134,449

（注）　事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品の名称

事業区分は、内部組織管理上採用している区分によっております。

(1) 化粧品事業‥‥‥‥化粧品、化粧用医薬部外品

(2) 医薬品事業‥‥‥‥医薬品、上記以外の医薬部外品

(3) 食品事業‥‥‥‥‥食品、栄養補助食品

(4) その他の事業‥‥‥アパレル、化粧雑貨、航空関連

【所在地別セグメント情報】

前第２四半期連結累計期間(自　平成21年９月21日　至　平成22年３月20日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社の売上高の金額が全セグメント売上高の金額の10%未満であるため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第２四半期連結累計期間(自　平成21年９月21日　至　平成22年３月20日)

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

【セグメント情報】

① 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主として化粧品及び医薬・食品の製造販売事業と航空関連事業等のその他の事業を営んでおります。

当社及び当社グループは、複数の製品の製造販売を行っており、取り扱い製品により包括的な戦略を立案し、事業活動を行っています。

したがって、当社は、取り扱い製品を基礎とした製品別のセグメントである「化粧品事業」「医薬・食品事業」から構成されております。

「化粧品事業」は、化粧品の製造販売を行っております。

「医薬・食品事業」は、医薬品・食品・栄養補助食品の製造販売を行っております。

「その他の事業」は、航空関連事業等を行っております。

② 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第２四半期連結累計期間（自　平成22年９月21日　至　平成23年３月20日）

（単位：千円）

	化粧品事業	医薬・食品事業	その他の事業	合計	調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
売上高						
(1)外部顧客への売上高	16,030,015	7,404,011	1,059,855	24,493,883	－	24,493,883
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	78,545	78,545	△78,545	－
計	16,030,015	7,404,011	1,138,401	24,572,428	△78,545	24,493,883
セグメント利益又は損失（△）	2,046,775	△13,965	△32,583	2,000,226	△703,881	1,296,345

（注）１　セグメント利益又は損失の調整額△703,881千円には、セグメント間取引消去27,260千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△731,141千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（追加情報）

第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

(6)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。